

上田まさや Vol.12 活動報告

みんなでつろう！刈谷の未来・子どもの未来



since2011



To tomorrow

命を大切に！
ここに太陽を

「箱物より人に税の再配分を」

子どもたちの未来へ、税の再配分を多くすればするほど何倍にもなって返ってきます。刈谷城復元より、高校生の医療費無料化、給付型奨学金、給食の第三子以降無料化、三世同居補助金などを実施すべきです。

**刈谷城復元を止めて刈谷の体質を変え！
新しい刈谷を！子どもが輝く明日を！**

子育て支援



公共事業
刈谷城復元30億



上田まさやレポートVol.12

刈谷子育て応援団陳情 刈谷市議会に提出

教育の機会均等と社会に有用な人材育成するために大学生・短大生のための給付型の奨学金の設置を求める陳情

真政クラブ	渡邊妙美議員	反対
真政クラブ	前田秀文議員	反対
市民クラブ	中嶋祥元議員	反対
自民クラブ	加藤賢次議員	賛成
清風クラブ	新海真規議員	賛成
共産党議員団	野村武文議員	賛成

賛成3人 対 反対3人 **残念不採択！**

委員長採決により不採択になりました。残念な結果ですが市民の声が刈谷市議会に上がってくることは非常に意味があることです。 **facebook**で で検索

刈谷子育て応援団
子育てはみんなの力で
刈谷駅前支部

刈谷市の自死者数

平成21年	26人	平成21年～平成28年	
平成22年	33人	合計自死者数	215人
平成23年	34人	年平均	26.87人
平成24年	17人	1 40歳代	51人 年平均6.37人
平成25年	33人	2 30歳代	37人 年平均4.62人
平成26年	21人	3 50歳代	33人 年平均4.12人
平成27年	28人	4 20歳代	29人 年平均3.60人
平成28年	23人		
合計	215人	自死対策連絡協議会の設置を！	

中高年の自死が多い刈谷市です。20代の自死が増えているのも悲しいことです。命というものはかけがえのないものです。人に優しい刈谷市にしなければなりません。

刈谷市の農業

日本の食料自給率 39%
カナダ 258% アメリカ 127%
韓国 41% フランス 129%

農業人口
1985年 542万人 2015年 209万人
農地の減少(平成22年～平成27年)

市街化調整区域 名古屋ドーム 1.8個分減少
青地 -12ヘクタール 白地 -7ヘクタール
1ヘクタール=3030坪

生産緑地の減少(平成4年～平成27年)
市街化区域 名古屋ドーム 2.3個分減少
刈谷市で大切な農地が減少しています。

人は食べなければ生きて行けません。これからの農業を考えなければなりません。詳しく、下記の一般質問映像をご覧ください。

Yahoo! youtube

e-mail:masaya70@gmail.com

上田まさや一般質問内容

- 9月議 ●刈谷市の人口動態と施策について
 - 若者の命について ●農地について
 - 12議会 ●刈谷駅北口再開発について
 - 刈谷市民の体の健康、こころの健康づくりについて
- 一般質問映像は で検索

刈谷市公共施設等総合管理計画

平成29年度～平成35年度

①公共施設再編	約39億円
②公共施設建替	約15億円
③公共施設大規模改修	約71億円
④橋梁修繕	約4億円
⑤公園施設更新	約3億円
合計	約132億円

今後、公共施設の老朽化が進みます。維持管理費が増大します。若い世代の負担を軽減させる為にも、今後の箱もの必要性を考えなければなりません。

刈谷城復元30億円! どうか?

自閉症スペクトラム 生きづらさ

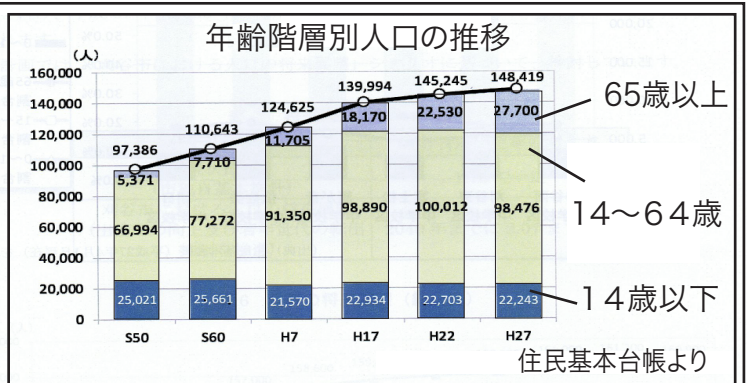
※自閉症スペクトラムとは対人コミュニケーションに困難さがあり、強いこだわりや反復行動がある障害で、自閉症やアスペルガー症候群などが統合してできた名称

精神障害者保健福祉手帳交付件数

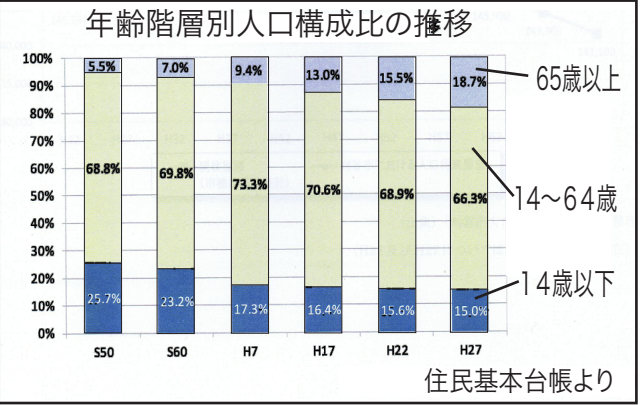
平成20年	439人	年々、こころの問題で手帳を交付されている方が増えています。人の特性はそれぞれ、みんな違っていいんだという刈谷市を目指さなければなりません。
平成25年	759人	
平成28年	945人	
※3月31日時点		

刈谷市の人口動態

	23年.2.1	25年.2.1	29年.2.1
65歳以上	22973人	24966人	29125人
15～64歳	99843人	99112人	98980人
14歳以下	22775人	22477人	22162人
合計	145591人	146555人	150267人
高齢化率	15.77%	17.03%	19.38%
生産人口率	68.57%	67.62%	65.86%
年少人口率	15.64%	15.33%	14.74%



※65歳以上の方は毎年1000人増え、14歳以下は100人減っています。



●高齢化が進むので当然、社会保障関係費が増大します。 ※高齢化は悪くありません。誰でも歳をとります。問題は少子化です。ここに予算を今、以上に入れるべきです。

	25年度	26年度	27年度
社会保障関係費	255億円	262億円	283億円
増減		+7億	+21億
決算	26年度	27年度	
個人市民税	113億9千万円	117億9千万円	
法人市民税	74億9百万円	45億2千万円	
固定資産税	145億2百万円	148億7千万円	
予算	28年度	29年度	
法人市民税	41億7千万円	23億円	

※社会保障関係費が増大しています。一方、法人税が下がっています。

●社会保障費、社会インフラと公共施設の老朽化による維持管理費等の行政コストが増大する中で「刈谷城復元30億円」は延期、見直しすべきです。

市長は刈谷城復元30億円について
市民とタウンミーティングを!

刈谷城復元30億円! 延期、見直し!

署名活動:お問合わせ 3704@kariyajo.jp

基金条例制定時の想定	平成32年度の完了を目指す内容
【整備内容】 ・建造物 ・辰巳橋、土塀、裏門 ・石垣 最大高さ約4m、面積約400㎡	【整備内容】 ・建造物 ・辰巳橋、多門櫓の一部 ・石垣 最大高さ約7.6m、面積約1,700㎡
【概算事業費】 ・約20億円	【概算事業費】 ・約30億円

図2.5 整備内容の変更(太字は変更点)

※図の太線部分のみで約30億円

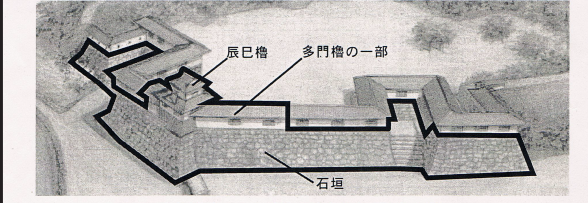


図2.6 平成32年度の完了を目指す部分(太枠内部)